

野中

滝戸遺跡

滝戸遺跡は、富士宮第三中学校周辺にある縄文時代から古墳時代後期までの遺跡です。令和3年6月から12月に行われた発掘調査では、土器や石器のほか、縄文時代の墓と弥生時代の墓が重なり合った状態で発見されています。

遺跡からの出土量は、市内で最も多く、当時の一大拠点だったと考えられています。



発掘調査の様子



滝戸とは、川幅が狭くなり、川が滝のように急な流れとなっている地形のことです。

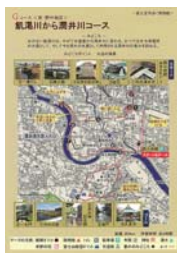
滝戸橋付近は、かつて兩岸に溶岩の崖が迫り、川底には多数の大きな岩がある急流地でした。

しかし、昭和54年の水害による復旧工事で川幅を広げ、川底の岩が取り除かれたため、今はその面影はありません。

歩く博物館Gコース<泉・野中地区>
飢渴川から潤井川コース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



発掘した土器や石器

(現在、埋蔵文化財センターに保管されています。)

しゅうせき・はいせき いこう
集石・配石遺構 [縄文時代]



石が一定の形状に並んでおり、死者を吊っていたと考えられる

うめがめ 埋蔵 [縄文時代]



縄文時代に子どもの棺として使われた土器

ほうけいしゅうこうぼ
方形周溝墓 [弥生～古墳時代]



周りに四角形の溝を掘った当時の首長クラスの墓

どこう 土坑 [縄文～古墳時代]



人が掘ったと考えられる穴

歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料 500円
- 申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問 文化課 ☎22-1187
✉e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック

